

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	名古屋ブライダルビューティー専門学校
設置者名	学校法人愛知産業大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生課程	ブライダルビューティー科1年	夜・通信	750 時間	160 時間	
	ブライダルビューティー科2年 ブライダルプランナーコース	夜・通信	660 時間	160 時間	
	ブライダルビューティー科2年 ブライダルスタイリストコース	夜・通信	720 時間	160 時間	
	ブライダルビューティー科2年 トータルビューティーコース	夜・通信	720 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	名古屋ブライダルビューティー専門学校
設置者名	学校法人愛知産業大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://asu-g.jp/index.php/yakuin/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士	2020.4.1～ 2022.3.31	財務
非常勤	クロスプラス株式会社相談役	2020.4.6～ 2022.4.5	コンプライアンス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	名古屋ブライダルビューティー専門学校
設置者名	学校法人愛知産業大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)  『シラバス作成ガイドライン』 <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a>  ・「シラバス作成ガイドライン」に基づき、授業内容・方法、到達目標、講師実務経験、目指す資格、授業予定、授業時間外の学習、成績評価基準などを、チェックポイントなどでわかりやすく指示している。  ・シラバスは前年度3月までに作成し、新年度の授業開始時期までに公表できるよう努めている。  ・作成したシラバスは教室への掲示と、HPでの公表を行っている。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a> <b>教室内への掲示</b>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)  『試験及び成績評価に関する施行細則』  <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a>  ・同細則に従い成績評価基準を設けている。学生には同細則及びシラバスにも成績評価基準をあらかじめ明示している。  『入学・卒業等に関する規程』  ・同規定によって、卒業または進級の認定基準を設け、審査会議、校長承認を経て単位認定をしている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  『GPAに関する細則』 <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業科目の5段階の成績評価に対して、4～0の評点を付与して算出する1単位当たりの評定平均値をGPAとしている。30時間で1単位とする。</li> <li>・100点満点で評定された成績の段階ごとに次のGPを配点する。  秀100～90点GP=4、優89～80点GP=3、良79～70点GP=2、可69～60点GP=1、不可60点未満GP=0</li> <li>・GPAは、次の各号に区分し、当該各号に定める方法で計算する。この場合において計算値は、小数点以下第3位を四捨五入して算出する。  (1) 学期GPA=(当該学期において履修した各授業科目の単位数×各授業科目のGP)の和/当該学期において履修した各授業科目の単位数の和  (2) 年度GPA=(当該年度において履修した各授業科目の単位数×各授業科目のGP)の和/当該年度において履修した各授業科目の単位数の和  (3) 通算GPA=(全学期において履修した各授業科目の単位数×各授業科目のGP)の和/全学期において履修登録した各授業科目の単位数の和</li> </ul>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a> 学生便覧の配布
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  『3つのポリシー』 <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ブライダル業界およびビューティー業界で働く専門知識と職業倫理、ならびに一般常識を持ち、社会に真摯に仕える能力を身につけていること」所定の単位を取得し、所定の要件を満たした学生に対し、卒業を認定し、専門士を授与する。</li> </ul> <p>『入学・卒業等に関する規程』 <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程表に記載する必要単位の学科目の成績がすべて「可」以上であり修得する</li> <li>・審査会議にて審査された内容において、校長の承認を得る。</li> </ul>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a> 学生便覧の配布

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	名古屋ブライダルビューティー専門学校
設置者名	学校法人愛知産業大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://asu-g.jp/index.php/zaimu/">https://asu-g.jp/index.php/zaimu/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://asu-g.jp/index.php/zaimu/">https://asu-g.jp/index.php/zaimu/</a>
財産目録	<a href="https://asu-g.jp/index.php/zaimu/">https://asu-g.jp/index.php/zaimu/</a>
事業報告書	<a href="https://asu-g.jp/index.php/jigyo/">https://asu-g.jp/index.php/jigyo/</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://asu-g.jp/index.php/zaimu/">https://asu-g.jp/index.php/zaimu/</a>

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	ブライダルビューティー科(2年) ブライダルプランナーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間	765 単位時間	75 単位時間			
			840 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (専門課程の 内数)	兼任教員数 (専門課程の 内数)	総教員数 (専門課程 の内数)	
120人		69人	0人	3人	7人	10人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>『シラバス作成ガイドライン』 <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「シラバス作成ガイドライン」に基づき、授業内容・方法、到達目標、講師実務経験、目指す資格、授業予定、授業時間外の学習、成績評価基準など、チェックポイントなどでわかりやすく指示している。</li> <li>・作成したシラバスは教室への掲示と、HPでの公表を行っている。</li> </ul>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>『試験及び成績評価に関する施行細則』 <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同細則に従い成績評価基準を設けている。学生には同細則及びシラバスにも成績評価基準をあらかじめ明示している。</li> </ul> <p>『入学・卒業等に関する規程』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同規定によって、卒業または進級の認定基準を設け、審査会議、校長承認を経て単位認定をしている。</li> </ul>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>『3つのポリシー』 <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ブライダル業界およびビューティー業界で働く専門知識と職業倫理、ならびに一般常識を持ち、社会に真摯に仕える能力を身につけていること」所定の単位を取得し、所定の要件を満たした学生に対し、卒業を認定し、専門士を授与する。</li> </ul> <p>『入学・卒業等に関する規程』 <a href="https://www.nbb.ac.jp/nyugaku/infopub">https://www.nbb.ac.jp/nyugaku/infopub</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程表に記載する必要単位の学科目の成績がすべて「可」以上であり修得する</li> <li>・審査会議にて審査された内容において、校長の承認を得る。</li> </ul>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>技術または学習の遅れがみられる学生や、検定試験前には、放課後に個別指導を実施。 検定試験前は、朝や帰りのホームルームを使用して、小テストを実施。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	7人 (87.5%)	1人 (12.5%)

(主な就職、業界等) ブライダル業界、美容業界
(就職指導内容) ・外部講師による職業講話の実施 ・外部講師による労働法やライフプランニングセミナーの実施 ・自己分析、将来設計 ・エントリーシート作成 ・就活メイク講座 (外部講師) ・履歴書写真撮影 ・面接指導 ・グループディスカッション指導
(主な学修成果 (資格・検定等) ) 1年次共通 サービス接客検定2級/マナーコミュニケーション検定初級/着装技術師検定3級/日本メイクアップ技術検定2～3級/フォーマルスペシャリスト検定準2級 2年次 (ブライダルプランナーコース) ブライダルコーディネーター検定3級/ホテル・レストランサービス技能検定3級/アシスタントウェディングプランナー検定/マナープロトコール検定3級/パーソナルカラー検定モジュール2/アロマセラピー検定1級 (ブライダルスタイリストコース) ブライダルコーディネーター検定3級/アシスタントウェディングプランナー検定//マナープロトコール検定3級/着装技術師検定2級/パーソナルカラー検定モジュール2/アロマセラピー検定1級 (トータルビューティコース) AEA日本エステティック業協会認定エステティシャン/エステティックセンター試験/マナープロトコール検定3級/パーソナルカラー検定モジュール2/アロマセラピー検定1級
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠課数に応じて面談を実施。20時間に達した場合、担任面談。40時間に達した場合、教員面談。60時間に達した場合、校長面談。各面談後、面談結果を保護者へ報告。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	ブライダルビューティー科(2年) ブライダルスタイリストコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間	585 単位時間	255 単位時間			
			840 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (専門課程の 内数)	兼任教員数 (専門課程の 内数)	総教員数 (専門課程 の内数)		
120人	69人	0人	3人	7人	10人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 『シラバス作成ガイドライン』 <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a> ・「シラバス作成ガイドライン」に基づき、授業内容・方法、到達目標、講師実務経験、目指す資格、授業予定、授業時間外の学習、成績評価基準など、チェックポイントなどでわかりやすく指示している。 ・作成したシラバスは教室への掲示と、HPでの公表を行っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 『試験及び成績評価に関する施行細則』 <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a> ・同細則に従い成績評価基準を設けている。学生には同細則及びシラバスにも成績評価基準をあらかじめ明示している。 『入学・卒業等に関する規程』 ・同規定によって、卒業または進級の認定基準を設け、審査会議、校長承認を経て単位認定をしている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 『3つのポリシー』 <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a> ・「ブライダル業界およびビューティー業界で働く専門知識と職業倫理、ならびに一般常識を持ち、社会に真摯に仕える能力を身につけていること」所定の単位を取得し、所定の要件を満たした学生に対し、卒業を認定し、専門士を授与する。 『入学・卒業等に関する規程』 <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a> ・教育課程表に記載する必要単位の学科目の成績がすべて「可」以上であり修得する ・審査会議にて審査された内容において、校長の承認を得る。
学修支援等
(概要) 技術または学習の遅れがみられる学生や、検定試験前には、放課後に個別指導を実施。 検定試験前は、朝や帰りのホームルームを使用して、小テストを実施。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	0人 (0%)	11人 (100%)	1人 (0%)
(主な就職、業界等) ブライダル業界、美容業界			



<p>(就職指導内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師による職業講話の実施 ・外部講師による労働法やライブランニングセミナーの実施</li> <li>・自己分析、将来設計 ・エントリーシート作成 ・就活メイク講座 (外部講師)</li> <li>・履歴書写真撮影 ・面接指導 ・グループディスカッション指導</li> </ul>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等) )</p> <p>1年次共通</p> <p>サービス接遇検定2級/マナーコミュニケーション検定初級/着装技術師検定3級/日本メイクアップ技術検定2～3級/フォーマルスペシャリスト検定準2級</p> <p>2年次</p> <p>(ブライダルプランナーコース)</p> <p>ブライダルコーディネーター検定3級/ホテル・レストランサービス技能検定3級/アシスタントウェディングプランナー検定/マナープロトコル検定3級/パーソナルカラー検定モジュール2/アロマセラピー検定1級</p> <p>(ブライダルスタイリストコース)</p> <p>ブライダルコーディネーター検定3級/アシスタントウェディングプランナー検定//マナープロトコル検定3級/着装技術師検定2級/パーソナルカラー検定モジュール2/アロマセラピー検定1級</p> <p>(トータルビューティーコース)</p> <p>A E A日本エステティック業協会認定エステティシャン/エステティックセンター試験/マナープロトコル検定3級/パーソナルカラー検定モジュール2/アロマセラピー検定1級</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
欠課数に応じて面談を実施。20時間に達した場合、担任面談。40時間に達した場合、教員面談。60時間に達した場合、校長面談。各面談後、面談結果を保護者へ報告。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	ブライダルビューティ科(2年) トータルビューティコース	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間	450 単位時間	390 単位時間			
			840 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (専門課程の内数)	兼任教員数 (専門課程の内数)	総教員数 (専門課程の内数)		
120 人	69 人	0 人	3 人	7 人	10 人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>『シラバス作成ガイドライン』 <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「シラバス作成ガイドライン」に基づき、授業内容・方法、到達目標、講師実務経験、目指す資格、授業予定、授業時間外の学習、成績評価基準など、チェックポイントなどでわかりやすく指示している。</li> <li>・作成したシラバスは教室への掲示と、HPでの公表を行っている。</li> </ul>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>『試験及び成績評価に関する施行細則』 <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同細則に従い成績評価基準を設けている。学生には同細則及びシラバスにも成績評価基準をあらかじめ明示している。</li> </ul> <p>『入学・卒業等に関する規程』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同規定によって、卒業または進級の認定基準を設け、審査会議、校長承認を経て単位認定をしている。</li> </ul>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>『3つのポリシー』 <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ブライダル業界およびビューティー業界で働く専門知識と職業倫理、ならびに一般常識を持ち、社会に真摯に仕える能力を身につけていること」所定の単位を取得し、所定の要件を満たした学生に対し、卒業を認定し、専門士を授与する。</li> </ul> <p>『入学・卒業等に関する規程』 <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程表に記載する必要単位の学科目の成績がすべて「可」以上であり修得する</li> <li>・審査会議にて審査された内容において、校長の承認を得る。</li> </ul>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>技術または学習の遅れがみられる学生や、検定試験前には、放課後に個別指導を実施。 検定試験前は、朝や帰りのホームルームを使用して、小テストを実施。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4 人 (100%)	0 人 ( 0%)	4 人 ( 100%)	0 人 ( 100%)
(主な就職、業界等) ブライダル業界、美容業界			

<p>(就職指導内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師による職業講話の実施 ・外部講師による労働法やライブランニングセミナーの実施</li> <li>・自己分析、将来設計 ・エントリーシート作成 ・就活メイク講座 (外部講師)</li> <li>・履歴書写真撮影 ・面接指導 ・グループディスカッション指導</li> </ul>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等) )</p> <p>1年次共通</p> <p>サービス接遇検定2級/マナーコミュニケーション検定初級/着装技術師検定3級/日本メイクアップ技術検定2～3級/フォーマルスペシャリスト検定準2級</p> <p>2年次</p> <p>(ブライダルプランナーコース)</p> <p>ブライダルコーディネーター検定3級/ホテル・レストランサービス技能検定3級/アシスタントウェディングプランナー検定/マナープロトコル検定3級/パーソナルカラー検定モジュール2/アロマセラピー検定1級</p> <p>(ブライダルスタイリストコース)</p> <p>ブライダルコーディネーター検定3級/アシスタントウェディングプランナー検定//マナープロトコル検定3級/着装技術師検定2級/パーソナルカラー検定モジュール2/アロマセラピー検定1級</p> <p>(トータルビューティコース)</p> <p>A E A日本エステティック業協会認定エステティシャン/エステティックセンター試験/マナープロトコル検定3級/パーソナルカラー検定モジュール2/アロマセラピー検定1級</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
欠課数に応じて面談を実施。20時間に達した場合、担任面談。40時間に達した場合、教員面談。60時間に達した場合、校長面談。各面談後、面談結果を保護者へ報告。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	ブライダルビューティ科(1年)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間	375 単位時間	495 単位時間			
			870 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (専門課程の 内数)	兼任教員数 (専門課程の 内数)	総教員数 (専門課程 の内数)		
120 人	69 人	0 人	3 人	7 人	10 人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>『シラバス作成ガイドライン』 <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「シラバス作成ガイドライン」に基づき、授業内容・方法、到達目標、講師実務経験、目指す資格、授業予定、授業時間外の学習、成績評価基準など、チェックポイントなどでわかりやすく指示している。</li> <li>・作成したシラバスは教室への掲示と、HPでの公表を行っている。</li> </ul>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>『試験及び成績評価に関する施行細則』 <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同細則に従い成績評価基準を設けている。学生には同細則及びシラバスにも成績評価基準をあらかじめ明示している。</li> </ul> <p>『入学・卒業等に関する規程』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同規定によって、卒業または進級の認定基準を設け、審査会議、校長承認を経て単位認定をしている。</li> </ul>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>『3つのポリシー』 <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ブライダル業界およびビューティー業界で働く専門知識と職業倫理、ならびに一般常識を持ち、社会に真摯に仕える能力を身につけていること」所定の単位を取得し、所定の要件を満たした学生に対し、卒業を認定し、専門士を授与する。</li> </ul> <p>『入学・卒業等に関する規程』 <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程表に記載する必要単位の学科目の成績がすべて「可」以上であり修得する</li> <li>・審査会議にて審査された内容において、校長の承認を得る。</li> </ul>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>技術または学習の遅れがみられる学生や、検定試験前には、放課後に個別指導を実施。 検定試験前は、朝や帰りのホームルームを使用して、小テストを実施。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等) ブライダル業界、美容業界			

<p>(就職指導内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師による職業講話の実施 ・外部講師による労働法やライブプランニングセミナーの実施</li> <li>・自己分析、将来設計 ・エントリーシート作成 ・就活メイク講座 (外部講師)</li> <li>・履歴書写真撮影 ・面接指導 ・グループディスカッション指導</li> </ul>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等) )</p> <p>1年次共通</p> <p>着装師3級/アシスタントウェディングプランナー検定/フォーマルスペシャリスト検定準2級/パーソナルカラー検定モジュール1/サービス接客検定2級・準1級/JMAメイクアップ技術検定2級/JNEC ネイリスト技能検定3級</p> <p>2年次</p> <p>(ブライダルプランナーコース) (ブライダルスタイリストコース)</p> <p>着装師2級/ブライダルコーディネート技能検定3級/レストランサービス技能検定/マナープロトコル検定3級/JMAメイクアップ技術検定1級/JNEC ネイリスト技能検定2級/ジェルネイル検定初級・中級/パーソナルカラー検定モジュール2/コミュニケーション検定 上級/アロマ検定1級</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33人	1人	3%
(中途退学の主な理由)		
成績不振		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
欠課数に応じて面談を実施。20時間に達した場合、担任面談。40時間に達した場合、教員面談。60時間に達した場合、校長面談。各面談後、面談結果を保護者へ報告。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ブライダルビューティー科	100,000 円	460,000 円	390,000 円	教育充実費(1年次のみ) 実習費(年間)
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
指定校推薦入学奨学金 制度 (入学時)入学金半額給付(5万円)				
AO 入学早期出願奨学金 制度 (入学時)一次出願者入学金 5万円免除 二次出願者入学金 3万円免除				
履歴評価奨学金 制度 (入学時)入学金半額免除(5万円)				
経済支援奨学金 制度 (在学時)授業料半額免除(23万円)				
学修奨励奨学金 制度 (在学時)授業料一部免除(10万円)				
指定検定合格奨学金 制度 (在学時)指定検定資格の受験検定料				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
委員は業界関係者、保護者、卒業生、教育的知見者により構成 (各1名以上) し、委員会は、本校が実践的かつ専門的な職業教育にかかる活動等を評価し、改善・支援等を行うことにより、学生が、関係業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受できるよう学校運営の改善と、専修学校教育の発展を目指した学校評価を教育活動、学修成果など複数の項目から行うことを目的とする。学校長は、自己評価の結果を本校教職員で組織した運営委員会に報告し、適宜、教育活動及び学校運営等に反映する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
中経企業(株) 代表取締役	2020.4~2022.3	教育的知見者
(株)アメーバホールディングス	2020.4~2022.3	業界関係者 【ゲストハウス】
合同会社 unit	2020.4~2022.3	業界関係者 【ブライダル企画】
(株)DOUCE VIE	2020.4~2022.3	卒業生
保護者	2020.4~2022.3	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a>
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html">https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</a>
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	名古屋ブライダルビューティー専門学校
設置者名	学校法人愛知産業大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		-人	-人	-人
内 訳	第Ⅰ区分	-人	-人	
	第Ⅱ区分	-人	-人	
	第Ⅲ区分	0人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				-人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当し



たことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	-人
計	人	0人	-人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)
------

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	-人	-人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	-人	-人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。